

「韓国だより」は、皆様のご支援により 100 号を数えました。
引続き**韓国からのホットニュース**としてご提供いたします
ので、ご支援のほどお願いを申し上げます。

函館支部事務局



2005. 9. 26 No.118

韓国からのホットニュース

プルデンシャル投資グループ、韓国にアジア本部

米国のプルデンシャルファイナンシャルグループが外国金融機関の中では初めて韓国に資産運用部門アジア地域本部を設置する案を推進することにした。

国際通貨基金 (IMF) と世銀合同年次総会参加のため、米国ワシントンを訪問中の韓副総理兼財政経済部長官は、24 日 (現地時間) 記者懇談会で韓国投資公社 (KIC) がプルデンシャルグループの子会社であるプルデンシャル国際投資グループの資産運用部門アジア地域本部をソウルに設置する内容などを含む了解覚書 (MOU) をプルデンシャルグループと締結したと明らかにした。

本契約が締結されればプルデンシャル国際投資グループは来年 1 月 1 日から国内で業務を始める予定だ。プルデンシャル国際投資グループは現在資産運営部門のアジア地域本部がなく、これまで香港で地域本部に近い機能を遂行してきた。しかし最近、アジア市場に対する進出を強化するために地域本部を設置することにし、香港・シンガポール・日本・中国などから検討し、韓国を選択して了解覚書を結んだ。

三星、LCD パネル増産へ

三星電子がモニター・ノートブック・テレビなどに使われる LCD パネルの出荷量を増やす。

三星電子は 25 日、大型 LCD パネル (10 インチ以上) の今年の出荷量目標を、年初の 4000 万台から 4350 万台に 8.8% 増やすことにしたと明らかにした。これを受け、第 3 四半期の出荷量目標は当初の予想 (1160 万台) より 10 万台多い 1170 万台に、第 4 四半期は 1310 万台に増えるだろうと、三星電子側は見込んだ。

今年的大型 LCD パネル販売台数は第 1 四半期が 880 万台、第 2 四半期が 990 万台の計 1870 万台と集計され、下半期の三星電子の大型 LCD パネル出荷量 (2480 万台) は上半期に比べ 32.6% 増えることになる。今年の全体出荷量は前年 (3000 万台) 比 45% 増となる。

国民の 60%、募兵制導入に賛成

国民 10 人に約 6 人は現在の徴兵制について、募兵制を一部導入または完全に募兵制に転換すべきだと考えていることが分かった。

ハンギルリサーチが 25 日、国会国防委員会・金議員の依頼で、全国の成人男女 800 人を対象に行ったアンケート調査によって分かったもの。それによると、回答者の 43.2% が、現在の徴兵制に募兵制を一部適用すべきと回答し、16% は募兵制に転換すべきとした。しかし、服務期間については回答者の 70% が、現在のレベルが適切だとし、減らすべきという回答者の割合 (20.8%) を圧倒した。

政府の国防改革案によって現在 68 万人の兵力を 50 万人に削減する計画については回答者の 48.4%が賛成したが、現在のレベルを維持するか増やすべきだと反対する意見も 45%で少なくなかった。

高齢化続けば成長率 1 %台に下落

中央銀行の韓国銀行・金融経済研究院は 25 日、高齢化が経済成長に及ぼす影響を通じて、高齢化が現在のすう勢で進む場合、平均成長率が 06～2010 年 4.12%、2011～2020 年 3.43%、2021～2030 年 3.33%、2031～2040 年 2.64%、2041～2050 年 1.45%に落ち込むだろうと見込んだ。同院はまた、外国人労働者の流入や女性人材活用の拡大、定年延長などの案では高齢化による成長率低下を防げないとし、人的資本を蓄積し、有効な労働力を増やし、研究開発などで生産性を高めなければならないと指摘した。

愛知万博が閉幕、韓国館には 350 万人訪問

日本の愛・地球博(愛知万博)が 25 日閉幕した。

KOTRA(大韓貿易投資振興公社)は今回の万博で、韓国の伝統文化やアニメーション映像技術などを展示した韓国館を運営し、観覧客や各メディアから好評を受けた。

KOTRA の集計によると、当初の目標の 2 倍以上にのぼる 350 万人余が韓国館を訪問した。これは愛知万博の全体観覧客 2000 万人の 16%にあたる。

特に、韓国館は国際博覧会事務局(BIE)の国家館評価で、最優秀国家館に選ばれた。

大学路に来た日本の伝統祭り、日韓交流おまつりが盛況

24 日、ソウル大学路の野外舞台。日本山口県の公演チームが三味線の軽快なリズムに合わせて郷土舞踊を披露し、韓国のプチェチュム(扇舞踊)がその後に続いた。3000 人余の観客は韓日両国 35 団体が順に繰り広げる公演を見ながら拍手を送った。

国交正常化 40 周年と韓日友情年を記念して開かれた日韓交流おまつり行事の一部だ。伽椰琴などの国楽にヒップホップを加え、ラップで歌詞を歌う韓国フュージョン国楽チームの公演を見た日本人女性は、韓国の伝統音楽が若い人の趣向に合うことを初めて知ったと語った。福岡公演団のイシカワ・テツヤさんは公演の感想を韓国語で最高と答えた後、今日の公演を見て喜んでいる韓国人観客の姿を見ると、韓日両国がさらに近づいたという感じがしたと語った。

ハイライトは午後 5 時半から 8 時まで大学路道で行われたパレード。韓国吹打隊が恵化駅 2 番出口から梨花洞ロータリーまで行進を始めると、秋田県、沖縄県などから来た伝統祭り行列が後に続いた。最後にねぶたの大型灯籠が華麗な姿で登場すると、大きな拍手が起こった。ねぶたの行列に参加した日本人と韓国人の 500 人余は、同じ衣装を着て踊りながら行事の最後を飾った。

行事を観覧した市民は、日本文化は細かくてきれいだという印象があったが、規模が大きくて驚いたとし、大学路を明るくした灯籠が印象的だったと語った。

以上。カムサ・ハムニダ。